

# 最新カナダ事情2

## 公共交通システムについて

(株)つうけんアドバンスシステムズ  
元(社)北方圏センター職員

担当課長

高桑 紀和

「メトロバンクーバー」の公共交通を取り巻く環境

今回クローズアップするのは、カナダ国内第3位の都市圏人口規模を誇るバンクーバー市を中心とした行政を担っている「バンクーバー大都市圏 (Greater Vancouver Regional District 略称: GVRD)」の「公共交通システム」です。

バンクーバー大都市圏は、ブリティッシュコロンビア (BC) 州の大陸南西部に位置し、バンクーバー市を核とした21市町村と1選挙区によって構成されており、BC州南西部地域一帯を管轄しています。

面積は約2900平方キロで、人口は1967年の発足当時は約95万人でしたが、2006年末で約210万人となり、2021年の推定人口は270万とされており、面積・

人口共に、札幌市と隣接する石狩市・当別町・江別市・北広島市・恵庭市を加えた5市1町的生活圏が同規模となります。

1967年7月12日の発足以来、2007年に40周年を迎えたことを契機に「メトロバンクーバー (Metro Vancouver)」に名称変更されました。

メトロバンクーバーの公共交通を運営しているのが「バンクーバー大都市圏交通公団 (Greater Vancouver Transportation Authority 略称: GVTAA)」で、通称「トランスリンク (Trans Link)」と呼ばれており、また、地元では圏内の公共交通システム自体を「トランスリンク」と呼ぶのが一般的です。

トランスリンクは、1998年にBC州全域の公共交通を統括していた「BCトランジット (BC Transit)」

から独立し、メトロバンクーバーの域内交通の円滑化や自動車交通量抑制などを目的として、社会資本の拡充と公共交通機関の統括や、交通行政における環境保全等を二元的に担う組織です。

各事業の運営は、下位に位置づけられた団体や組織に委ねられているため、組織の規模は小さいですが、関係市町村の首長が役員を務めていることから、行政に対する権限も強く、財源についても域内の関連税制等の変更を行うことができるため、中長期にわたった総合的な圏内交通の整備を行っています。

有機的かつ機能的に構成された「トランスリンク」

国土が広大な北米では、自動車が生活に欠かせない存在となっていま

すが、その一方で、公共交通は学生やお年寄りなどの移動手段として定着しており、また、近年の石油価格の高騰に伴ってマイカー利用から公共交通へシフトする人が増加し、公共交通システムの重要性がますます高まっています。

メトロバンクーバーの圏内交通を担っているトランスリンクは、「バス」・「高速鉄道」・「短距離フェリー」の三つの交通機関が有機的かつ機能的に構成されています。

バスネットワークは、市街地が電気式トローリーバス、郊外はディーゼルバスを採用しており、そのほとんどがカナダ国産の「ニューフライヤー (NEW FLYER)」製で、環境に優しい最新型の電気式トローリーバスは、一台100万ドル(約1億2千万円)と非常に高価です。また、コ



バスの乗り換え拠点「バスループ」

コミュニティバスは、小回りが良くフ  
ォード製「Eシリーズ」の車両を採  
用しており、「バスループ」や「エ  
クスチェンジ」と呼ばれる乗り換え  
拠点や駅を核に幹線バスと接続し、  
きめ細やかな路線サービスを提供し  
ています。主要路線は、深夜も運行  
している「ナイトバス (Night  
Bus)」がある他、1996年には、  
快速バス「B-Line (Bは、Bai=猛ス  
ピードの意)」が登場し、幹線の移  
動時間が大幅に短縮されました。

1980年に初登場した障害者・  
高齢者用のバス「ハンディダート  
(Handy DART)」以来、1986年か  
ら本格的に始まった国内初の完全バ  
リアフリー化事業により、2005  
年には、旧型の一部トロリーバスを  
除く全てのバスが車椅子対応車に切  
り替えられました。バリアフリー車  
両は、一見ごく普通のバスに見えま  
すが、エア・サスペンションで車高  
を下げ、乗車口からリフトが簡単に  
出てくる仕掛けとなっており、車椅  
子の利用が日常的に行われていま  
す。もちろん、小型のコミュニティバ  
スも車輪後部からリフトが出てくる  
バリアフリー構造となっています。



大学キャンパスのバスループで次の出番を待っている  
「二両連結バスのB-Line」

高速鉄道ネットワークは、198  
6年に開催された「バンクーバー万  
博」を契機に導入された「スカイト  
レイン (Sky Train)」が主役を担っ  
ており、1995年には、スカイト  
レインと連携して近郊都市を結ぶ  
「ウエスト・コースト・エクスプレ  
ス (West Coast Express)」が運行開  
始されました。



1億円以上する「国産新型トロリーバス」

スカイトレインは、「車輪走行型リ  
ニアモーター」の無人新交通システ  
ムで、世界トップレベルの技術を採  
用しています。ダウンタウン地区は  
地下、郊外では高架を走行してお  
り、運転席がないため、一番前の車  
輪に乗車すると、自分が運転してい  
るような楽しい気分が味わえます。  
開通以来、最も重要な地域の足と  
して位置づけられ、順次拡大を続け  
ており、2010年の「バンクーバ  
ーオリンピック」開催に向けて、2  
009年には空港と直結し、今後ま  
すます便利になる予定です。



世界トップレベルの技術を誇る無人新交通システム  
「スカイトレイン」



スカイトレインの一番前の車両から見た風景



ダウンタウン側のシーバス駅「Waterfront」



「自転車ロッカー」設置の駅とバスループ、Park & Ride拠点 ※TranslinkのHPより引用

1957年に開設された「フレージャー川」兩岸のラングレー地域とメープルリッジ地域を結ぶ「アルビオンフェリー (Albion Ferry)」は、約20台の自動車と旅客を積載できる小型のカーフェリーですが、近隣に建設中の「ゴールデンイヤーブリッジ」の完成(2009年竣工予定)と同時にその役目を終える予定です。

注目すべき点は、スカイトレインやシーバスの駅に改札がないことです。ただ、警察官が時々車内で検札を行います。つまり、利用者の『モラル』と『良識』に委ねているということです。カナダでは、改札要員にかかわる多大な人件費や、改札機導入・維

### 地域活性に寄与する

#### 『統合的で質の高い取り組み』

トランスリンクの重要なミッションの一つとして、交通がもたらす環境破壊の抑制に努力し、地域住民の健康被害と大気汚染の抑制に努めることがあげられますが、その一方策として、駅周辺に「パーク・アンド・ライド・ロット (Park and Ride Lot)」と称する安価な駐車場を提供し、自宅から駅のみマイカーを利用する「パーク・アンド・ライド (Park and Ride)」方式によるマイカ

「バイク・アンド・ライド (Bike and Ride)」という独自の施策を積極的に展開し、環境への配慮や渋滞対策に好影響が期待されるマイカーや自転車との連携による『統合的で質の高い公共交通ネットワーク』が提供されています。

その他、路線バスでのハイブリッドカーや低排気ガス車・低公害車の採用、環境に優しい新交通システムの導入など、次世代の公共交通のあり方についても検討されています。

最も注目すべき点は、ウエスト・コースト・エクスプレスを除く、全てのトランスリンクの料金が「ゾーン制 (Fare zone)」と呼ばれる運賃制度を採用していることです。メトロバンクーバーを3つの「ゾーン (区域)」に分け、ゾーン内を同一運賃に設定し、ゾーンをまたぐごとに運賃が上がる仕組みです。運賃は、1ゾーンが大人2・25ドルで、5歳児から13歳までの児童と障害者は「特割 (Concession)」が適用となり1・50ドル、2ゾーンは大人3・25ドル、特割2ドルで、3ゾーンは大人4・50ドル、特割3ドルとなっています。4歳までの幼児は無料です。乗券から90分間トランスリンク内は乗り降り自由になっている他、平日



スカイトレインの拡張計画  
※TranslinkのHPより引用

の18時30分以降と土曜・日曜・祝祭日は、全ゾーンで1ゾーン料金が適用されます。

その他にも、割安な10枚回数券「フェアセイバー (Fare Saver Tickets)」や、一日乗り放題券「デイパス (Day Passes)」が設定され、バス車内やシーバス・スカイトレイン駅の自販機で購入できる他、スローパーやコンビニエンスストア等でクレジットカードでも購入できます。

そして、トランスリンク最大の特徴といえるのが、ゾーン定期券「フェアカード (Fare Cards)」です。日本のように、自宅と目的地の往復と途中下車のみ有効な定期券と異なり、ゾーン内は乗り降り自由となっ



ゾーン別の料金区分 ※TranslinkのHPより引用

ていることです。また、日曜・祝祭日は、一枚の定期券で本人を含む大人2名と子供4名まで乗車可能なことから、食事やショッピングなどの外出機会を増大し、地域をまたがった移動が促進されることで、『地域活性化』を図ることができると共に、外出の促進によって、地域住民の『健康面に好影響を与えている』といわれています。

ゾーン定期券の有効期限は、一律毎月1〜末日で、料金は、1ゾーン69ドル、2ゾーン95ドル、3ゾーン130ドル、特割(全ゾーン)40ドルとなっており、14歳から19歳までの学生や65歳以上の高齢者等は別途割引が適用されるなど、安価に設定

されているため、ゾーン定期券の利用度が非常に高く、『渋滞対策』『飲酒運転の減少』などの効果があるだけでなく、『運営会社の安定収入源』となっています。なお、2008年1月から、1ゾーンの運賃が2・25ドルから2・50ドルへ、定期券が69ドルから73ドルに値上げすることが公示されています。

また、特筆すべき点として、車輛やホームの電光掲示板には、通常「行き先」や「ルート番号」、「路線名」が表示されますが、アイスホッケー (NHL) のシーズンは、『Go CANUCKS GO』のように、ホームチームを応援するメッセージを掲示して住民感情を盛り上げたり、『Happy Holidays』『Mary Christmas』『Happy New Year』等の季節感あふれるメッセージを表示するなど、地域住民と一体化する心配りが垣間見えることです。

これらのように、『地域活性化』と「車社会の根本的見直し」という二つの観点から、『公共交通の統合的で質の高い取り組み』を積極的に展開することによって、大きな成果を上げていることは、日本における公共交通の諸政策において、参考になることが数多くあると思われました。

## 悠久の時を贈るパストラルアートコレクション・イルミナ



「イルミナ」グッズは、北の田園風景を金井英明がファンタスティックに描いた作品を金井印刷がデザイナーブランドにしたものです。

- 取扱商品/レターセット・絵ハガキ・ファンシーノート・メルヘンカード・プリントアート他
- 取扱店/丸井今井大通館B1・新千歳空港店、札幌プリンスホテル売店、ニセコ東山プリンスホテル他



HIGH TOUCH PRINT ART MEDIA  
其水堂金井印刷株式会社  
開発事業部  
〒003-0803  
札幌市白石区菊水3条4丁目4-18  
TEL (011)532-8191(代)